

CSRを支える取り組み

## コーポレート・ガバナンス／リスク管理

コカ・コーラウエストグループは経営の効率性・透明性を向上させるために、経営諮問委員会を設定するなどコーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。また、リスクが発生した場合、リスクの極小化をはかるために、発生時に備えた体制の構築および教育・訓練の実施などのリスク管理に取り組んでいます。

### コーポレート・ガバナンス

コカ・コーラウエストグループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、経営の効率性・透明性を向上させ、コカ・コーラウエストグループの企業価値、ひいては株主共同の利益の増大に努めることです。

当社は、監査役設置会社を採用しており、意思決定および経営監督機能と業務執行機能を分離すべく、1999年3月に取締役会の改革および執行役員制度の導入を行っております。また、2007年4月には、グループ経営の効率化と意思決定の迅速化等をはかるべく、コカ・コーラウエストグループ執行役員制度の導入を行っています。

なお、2006年3月に、事業年度における取締役の経営責任を明確化するとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる機動的な経営体制を確立するため、取締役の任期を2年から1年に短縮しています。

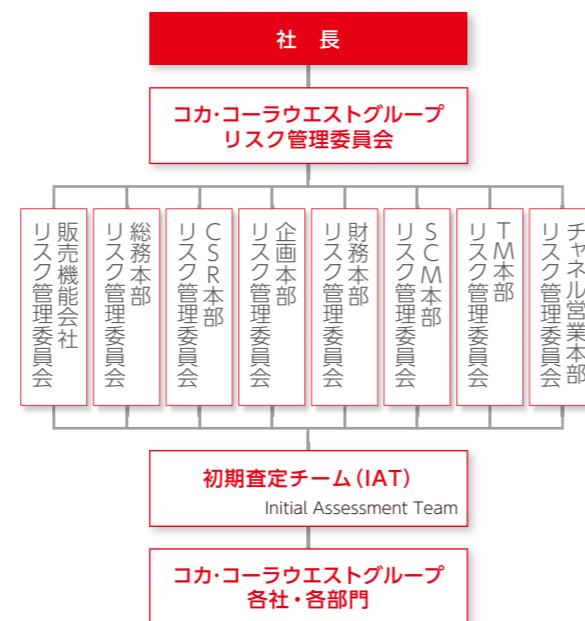
また、2006年7月に、経営の効率性および透明性を向上させ、株主価値を増大させることを目的に、有識者から適切なアドバイスを受けるための取締役会の諮問機関として、経営諮問委員会を設定しています。当委員会の諮問事項は、取締役・監査役候補者に関する事項、役員の報酬等に関する事項ならびにグループの経営全般における重要戦略等に関する事項等としています。

### リスク管理

コカ・コーラウエストグループでは、リスクが発生した場合に、社会や経営への影響を最小限に止めるために「コカ・コーラウエストグループ危機発生時体制」をグループ組織運営体制に沿って構築しています。

また、講習会や部門長以上への危機発生時シミュレーション訓練、製造工場での実際の事故を想定した訓練を実施し、危機発生時対応力の向上と意識啓発を図っております。

■ コカ・コーラウエストグループ危機発生時体制図



## コンプライアンス

経営理念を実現するために社員としての行動の基本を示すものが「コカ・コーラウエストグループ行動規範」です。この行動規範をコンプライアンス活動の中核と位置づけ、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指し、コンプライアンス確立のためのさまざまな取り組みを積極的に実施しています。

### コカ・コーラウエストグループ行動規範

【コカ・コーラウエストグループ行動規範】

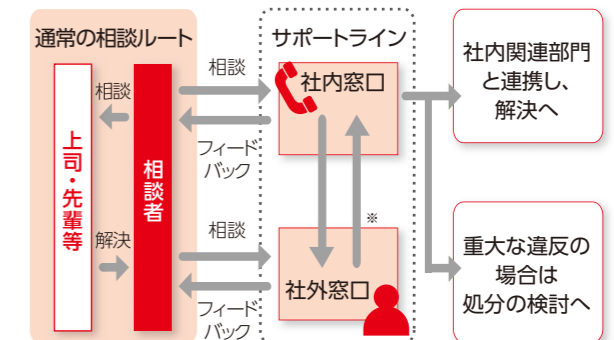
私たちは、すべての法令を遵守するとともに、社会的良識をもって誠実に行動し、すべてのステークホルダーからの信頼を得ることで経営理念を実現します。

- **お客さまに対して**  
私たちは、常にお客さまの立場に立って行動し、お客さまのご満足を追求します。
- **お得意さまに対して**  
私たちは、お得意さまをお客さまのご満足を実現するためのパートナーとして大切に、お互いの繁栄を目指します。
- **お取引先に対して**  
私たちは、お取引先との公正で対等な取引を通じ、お互いの共存をはかります。
- **社員に対して(会社と社員・社員間)**  
私たちは、職場のすべての人たちがいきいきと働くことができるように、お互いの考え方や立場を尊重します。
- **株主に対して**  
私たちは、健全かつ透明性のある経営に努め、企業価値を高めます。
- **社会に対して**  
私たちは、企業市民として社会的な責任を果たし、より豊かな社会の実現に貢献します。

### コンプライアンスの取り組み

「あたり前のことをあたり前に」実践できる組織風土を醸成し、健全な会社づくりを進めています。また、「コカ・コーラウエストグループコンプライアンスサポートライン」を設置し、社内担当者が務める社内窓口と外部に委託する社外窓口の2か所の窓口体制にて運用しています。また、社員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上と実践に向け、教育や啓発を継続して行っています。

■ サポートラインのフロー図



※本人の承諾なしに、氏名の開示は行いません。



パンフレットを作成し、サポートライン制度の概要やしくみ、利用方法を説明し、利用の促進に努めています。